

2017 第13回新春カラオケ大会

恒例の新春カラオケ大会第13回目が新年早々、1月15日(日)に開かれた。例年にも増して多くの企業、個人からご協賛いただき、大いに盛り上がった1日となった。出演者は90歳を超える最高齢者から小学生まで幅広い年齢層から成り、合計54名が歌い、全員に賞品が授与された。また、休憩時には当会館名物の“ぜんざい”と“一銭焼き”が振る舞われた。ご協賛の方々に感謝するとともに、ご協力いただいた皆様に御礼申し上げます。

ご協賛企業、個人のみなさま ありがとうございます

味の吉川、船場西・池田薬局、(株)インクス企画、(株)江川組、エースイ設備株、Q's Mall、(株)コクド、大漁市場こんぴら丸、芝田そろばん塾、箕面湯元水春、船場西よしだ歯科医院、船場西薬局、株センリ、高千穂神楽、ナストー、バーバー・スタンダード船場店、バーバー・ニューせんば、(有)道原電設、宮野電気株、天然酵母使用のラ・パン、ローゲンマイヤー、鈴木(康)、コミセン運営委員



そば打ち教室

今年3月12日(日)午前10時から小会議室で、昨年の好評を受けて正田昭講師の指導のもとに「そば打ち」を学んだ。ここでは結構力もいることから男性の参加者が多数を占め、お爺ちゃんとお孫さん、お父ちゃんとお子さんなどの組み合わせが目立ち、大きな声で自慢話が渦巻いた。

参加者が多く、出来上がったそばを取り合うかのように食し、あっという間にそばはなくなってしまった。



お菓子作り教室



そば打ちと同じ日の午後1時30分から同じ小会議室で、これまた人気のお菓子作り教室が、てきぱきした教え方で人気の松井暁子講師の指導のもとで開かれた。設備、道具が不十分な会場のため、講師の苦勞がしのべられたが、こちらのほうは参加者の大半を女性が占め、おばあちゃんとお孫さん、お母さんとお子さんの組み合わせも多く、和気あいあいの雰囲気がお菓子の美味を生み出しているようであった。

全館ワックス掛け

3月19日(日)管理部の年度末恒例の「全館ワックス掛け」。全館を休館にし、管理部を中心に各部役員が出動して、依頼した業者に的確に指示し、全館を磨き上げた。とくに山田清蔵管理部長は3月末に退任し、顧問就任ということで、責任者として最後の厳しい眼を各室の隅々に配っていた。

